



私の木更津市議会議員としての活動も5年が過ぎました。
これからも市民の一人として、ふるさと木更津市の発展と市民のより良い生活のために地道な活動を続けてまいります。

さて、昨年12月19日に同僚議員であられた鈴木秀子議員が急逝されたこと、残念でなりません。鈴木議員はいつも私を励ましてくださいました。特に今期は同じ控え室を使わせていただくことになり、様々なご指導をいただけると楽しみにしておりましたが、それも7ヶ月余りでかなわぬこととなってしまいました。

鈴木議員は「議員もさ、何でもかんでも賛成するんじゃないくてさ、市民のためにならないと思ったら反対できないといけないと思うよ。市民の代表なんだからさ」と常々おっしゃっていました。

まさにその通りで、私もその姿勢を今後も見習っていきたいと思っています。

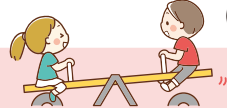


私がこの1年間で

市議会で取り上げたこと・主張したこと

(令和5年9月定例会～令和6年6月定例会)

「市民が使える公園」に



- 公園は本来、子どもたちの遊びの場であり、市民の憩いの場であるはずですが、木更津市の公園の現状は、雑草が伸び、立ち入ることも難しい状況にあることが多いです。また、公園内の遊具は国が定めた健全度ランクAからDのうち約6割がC・Dランクとなっています。(Cランクとは部分修繕が必要で原則使用不可、Dランクは大規模修繕が必要で使用不可となる)
- 雑草の原因は、除草が年に3回しか行われなためです。除草を年に8回行うという自治体もあります。遊具の改善も進んでいません。
- これでは、災害時の避難場所としても使用できません。
- 木更津市の答弁は「予算がない」とのことでしたが、財源はムダを削れば出てくるはずですが、「市民のための公園の整備」を求めました。



木更津市は災害への対策が不十分ではないか

- 元日に発生した能登半島地震は日本中に大きな衝撃を与えました。
- 各自治体が災害対策の準備を進めており、私も君津市を手本に「災害用トイレトレーラー」を、富津市を手本に「水循環システム・屋外シャワーキット」の整備を木更津市に提案しました。
- また「木更津市災害廃棄物処理計画」に定めた災害廃棄物の処理やごみ置き場等について、市民への周知をするよう求めました。
- 同時に避難所となる小中学校体育館へのエアコンの設置も強く求めています。これは、日常の児童生徒の熱中症対策にもなります。千葉県自治体でも今年度の予算で小中学校の体育館にエアコンを設置するところが増えています。ところが、木更津市は夏季は大型冷風扇、冬季はストーブの設置で大丈夫との見解です。これでは二次被害を増やすことになりかねません。



木更津市も市民生活への支援を拡大すべきであった

◎令和5年5月に千葉県が実施した「子どもの成長応援臨時給付金」および「高等学校等新入生臨時給付金」について

- 事業の内容は小学生から高校等の1年生を対象に一人1万円を給付した事業です。
- 千葉県内54市町村のうち30以上の市町村が、独自に支援の対象を未就学児や高校3年生相当まで広げるなど、国から支給された地方創生臨時交付金を活用するなどの補正予算によって県の給付に上乗せして給付しました。
- 木更津市はこのような上乗せ支援をしなかったため、他の自治体のように県の支援に上乗せして市民への給付を行うべきであったと主張しました。

◎令和5年実施の「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金」について

- 事業内容は、特に家計への影響が大きい住民税均等割非課税世帯に対し、1世帯3万円を給付するものです。
- 自治体によっては、予期せず家計が急変し、住民税非課税世帯と同様の事情があると認められる世帯(家計急変世帯)にも3万円を給付しました。
- 木更津市は家計急変世帯への給付をしなかったため、他の自治体のように対象範囲を広げて市民への支援をすべきであったと主張しました。

土木費に偏らず市民生活や事業者のための予算編成を

- 《表1》に示したように、木更津市は県内37市で令和6年度一般会計予算に占める土木費の割合が最も高くなっています。
- 土木費の中でも道路や下水道、公園など公共性の高いものは整備を進めていかなければなりません。
- しかし、《表2》に示したように、木更津市が進めている「街なか居住マンション」への建設補助費は、建設中の4棟目を含めて8億6千万円以上もの市の公費が投入されています。
- また、《表3》に示したように、木更津市は富士見通り工事のため、既に14億円以上の費用を計上しています。
- 《表2》や《表3》に示した事業は市民全体に市の公費が還元されず、例えば学校給食費完全無償化やがん検診の無料化、市内循環バスの運行など市民生活の向上や農業者をはじめとする事業者への支援などにこれらの予算を回すことによってどれだけのことができたかと思うと、残念でなりません。
- 木更津市は《表2》や《表3》の事業によって木更津駅周辺(特に西口)の活性化を図りたいといひます。しかし、市民のための行政によって「子育てしやすいまち」「高齢者が過ごしやすいまち」「生活環境が整ったまち」などの成果を上げることができれば、自然と木更津市に住民が集まってくることになるはずですし、それが本来の行政であるはずですが。

《表1》令和6年度 千葉県内各市の一般会計予算に占める土木費の割合(%) (堀切調べ)

木更津市	12.4	君津市	6.7
千葉市	11.6	袖ヶ浦市	6.7
松戸市	10.7	富津市	5.4

《表2》木更津市が現在までに支出した街なか居住マンションへの補助金額

1棟目	3億2,250万円
2棟目	1億2,680万円
3棟目	2億9,664万1,000円
4棟目	1億1,826万円
総 額	8億6,420万1,000円

(4棟目は現在建設中につき、令和6年度の予算を含みます)

《表3》木更津市の富士見通り工事のための費用

歩道整備工事費	5億6,000万円
無電柱化事業費	7億3,105万円
アーケード撤去事業費	1億4,400万円
総予算額	14億3,505万円

木更津市は「民主的な行政」を行っているか

- 憲法は、地方自治の原則として「住民自治(地方のことは住民が決める)」を求めています。現在の木更津市政に市民の意見は反映されているのでしょうか。
- 「市民アンケート」は令和3年以降実施されていません。
- 計画等に対する「意見公募」は同時期に実施される件数が多く、公募期間も30日間と短いため、市民から寄せられる意見等は非常に少なく、それらの意見等が計画等に生かされることも少ないのが現状です。
- 「住民説明会」では市の計画に反対する意見が多く出されても「もう決まったことだから」を繰り返して意見を打ち切ってしまう場面が多く見られます。
- 木更津市は「民主的な行政」の実現に向けた市政を行うよう求めました。



その他、このようなことを取り上げました

- 金田地域交流センターコワーキングスペースの利用については現在、利用料金として木更津市民でも1時間につき50円を徴収しており、これは大人も小中高生も同額で、それらの利用料金は指定管理者の収入になります。
- 夏休みなどに学習のために自習スペースを利用する学生は多く、新型コロナウイルス感染症によるリモートワークなどが少なくなった今は社会人の利用よりも多くなることも考えられます。
- 1日4時間学習すると200円の支出になるわけで、収入のない学生にとって毎日の支出は大きな負担(小学生にとっては特に)になります。
- 「子育てしやすいまちづくり」をめざすのであれば、こういう支出をなくすなど細かい心配りをするのが行政の仕事であり、**条例の改正を求めました。**
- 市民の皆様のご家庭にも自治会の回覧等があったことと存じますが、木更津市は自治会を通して木更津港まつりの協賛金として、1世帯当たり100円の支出を求めています。
- 花火が見えない地域の世帯、生活保護世帯、年金生活世帯などによる区別はありません。
- 今は市が自治会に対して「1世帯100円分の協賛金を自治会費から支出することや、自治会の役員の方に各世帯を回って100円ずつ集めることをお願いします」という回覧文を回す時代ではありません。
- 昨年度、89もの自治体が協賛金を納入しなかったのは、**市の姿勢に対する反対の意思表示**かもしれません。
- **来年度以降はこのような協賛金を求めることはしないよう求めました。**
- 花火大会の観覧チケットは一般で購入された方は4,000円ですが、観光案内所でアクアコインを用いて購入された方は3,500円で購入できます。
- 市民全員に同じように花火を楽しんでいただきたいのであれば、どのような購入方法であっても3,500円の**同額で観覧チケットを販売すべき**であると求めました。
- 「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画(吾妻公園)」などによる公共施設整備等により、今後市債発行額が大幅に増加する財政計画(令和9年度には76億円を超える見込み)が立てられています。
- **将来世代の市民への負担が大きくなりすぎるため、公共施設の整備計画を見直すべきと主張しました。**
- 令和5年度当初には約54億円にまで増えた財政調整基金(家計でいえば貯金のようなものです)を活用して他の自治体が行っているような事業、例えば**市内店舗で利用できるクーポン券などによって市民や事業者を支援**する事業等の実施を求めました。
- 木更津市の下水道普及率は56.1%(令和5年3月現在)で、残念ながら県下でも低い方です。令和3年12月定例会での私の質問に対しての答弁にもあった「木更津市下水道事業経営戦略」に基づく**毎年1%の進捗に向けた予算の確保**を求めました。
- 現在、各公民館に「**体組成計**」が設置されています。これは令和4年度に688万8000円の費用でコロナ禍における市民の健康管理を目的として市内に22台を設置したのですが、私はその効果について当初から疑問視しており、これだけの金額があれば当時**新型コロナウイルス感染症に苦しむ市民や事業者への支援**ができるのではないかと考えていました。



- 設置から1年が過ぎた段階で、あまり活用されていない実態もあるのではないかと考えたから、購入したからには**市内の医療施設に無償で貸与するなど有効活用**することを提案しました。
- 木更津市には十分な道幅がなく、歩道が確保できないため、側溝の蓋の部分を歩道にせざるを得ない市道が多く見られます。
- 他の自治体にもこのような道路がありますが、写真のように蓋の部分を緑に着色し、「グリーンベルト」として運転者等の注意を喚起する工夫をしている自治体もあります。
- 千葉市では、平成28年度から市内小学校の通学路について、学校から半径500mで歩道がない道路の路肩をカラー化する事業を始めています。
- 木更津市でも**児童の安全を守るため、同様の事業を始める**よう求めました。
- 江川総合運動場は陸上自衛隊木更津駐屯地に隣接しているため、騒音や事故等の危険を免れられません。
- 昨年6月に実施した騒音測定では、**江川総合運動場の騒音は環境基準を超えて**いました。
- また、昨年11月29日には米軍所属のオスプレイが鹿児島県屋久島沖に墜落する事故もありました。
- そこで、**江川総合運動場での騒音の状況が改善**するまで、また米軍オスプレイの墜落事故の原因がはっきりするまでは**飛行量が多い時間だけでも江川総合運動場の運用を停止すべき**であったと主張しました。
- 市内小中学校の特別教室へのエアコン設置ですが、今年度ようやく波岡中学校から始まったばかりです。このままでは**全小中学校への設置完了はいつになるのか**、今後も**早期の完全設置に向けて**取り組んでまいります。
- 市長の今年度の施政方針には学校教育について**教職員の負担軽減や教育環境の改善等の内容**が含まれていないことに言及しました。こちらも今後も取り組んでまいります。
- JR久留里線(久留里ー上総亀山間)沿線地域交通検討会議に木更津市は現在、**オブザーバーとして参加**しています。この区間が廃止になると、該当地域に大きな影響を与えるとともに、いずれは木更津ー久留里間も存続が問われる事態になりかねません。オブザーバー参加では意見が言えないので、**正式な委員として参加するとともに、JR久留里線の存続に向けた取り組み**を求めました。
- 昨年11月29日の米軍オスプレイの墜落事故に関して各自治体が事故原因の究明を求める中、木更津市は令和6年3月19日に市長によって「防衛省から安全性について説明を受けた」との理由でオスプレイの運用再開を容認したと市民に通知がありました。
- 私は市長が**運用再開を容認したことについて市民への説明が十分ではなかった**と追求しました。
- また、他の自治体の市長が「原因についての十分な説明がない中での運用再開は遺憾である」との声明を発する中、**オスプレイ17機を抱えることとなる木更津市長も遺憾の意を表明すべきであったと求めました。**
- 農林水産省が公表した2022年の「営農類型別経営統計」によれば「**農業者の1時間あたりの農業所得**」において**水田作はわずか10円**でした。木更津市には持続可能な農業経営を図るためにも、**独自の農業者支援を行う**よう求めました。



私がこの1年間で市議会の議決と異なる表決をしたこと

《令和5年9月定例会》

◆令和4年度木更津市歳入歳出決算の認定について

……以下の理由から**反対しました。**

- 一般会計歳入歳出決算において、当時まだオミクロン株等による新型コロナウイルス感染症による影響が大きい中において、**市民生活を支援すべき民生費や事業者を支援すべき農林水産業費や商工費の割合が低い**ため、十分な支援ができなかったこと。
- 教育費の割合が木更津市は8.3%であり、他の自治体が10%程度もしくはそれ以上であることを考えると、消耗品や教材、学校備品等で不足が生じ、他の自治体との教育格差を招きかねないこと。

◆基地対策関係施策に関する要望書に関する発議案

……以下の理由から**反対しました。**

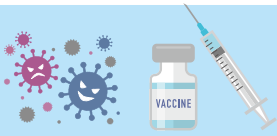
- この発議案が上程されたほぼ同時期の2023年8月31日に木更津駐屯地所属の陸上自衛隊オスプレイが静岡県焼津市の静浜基地に予防着陸をしたことを始め、9月14日に在日米軍オスプレイが鹿児島県奄美空港と沖縄県新石垣空港にそれぞれ2機、16日には大分空港に1機の合計5機が緊急着陸をしており、木更津市民の間でも**安全性を危惧する声が大きくなって**いました。
- また、木更津市が主催する地域住民や漁業者の皆さんを対象とする協議会においても、**生活環境や漁業環境の改善を求める声がなくなる**状況にありました。
- このような中で、交付金等の増額を求めることは、現状を容認することにもなりかねず、**市民の安全に対する要望と異なると判断したため。**

《令和6年3月定例会》

◆木更津吾妻公園文化芸術施設整備運営基金条例の制定について

……以下の理由から**反対しました。**

- この条例は、「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」に基づいて吾妻公園に公民館や図書館、市民ホールなどの複合施設を造るための基金を設けるための条例です。
- この地域は、木更津市が作成したハザードマップで地震の時には最大3メートルの津波を想定しているため、主要施設は2階以上に配置するとのことでした。



- 「なぜそのような津波が想定されている場所に多くの人々が集まる施設を造る必要があるのか」という市民の疑問に対する説明ができていません。
- 木更津飛行場の近くであることによる騒音や予期しない事故による被害の心配もあります。

◆木更津市金田地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

……以下の理由から**反対しました。**

- この条例は、寄贈により金田地域交流センターに設置するグランドピアノの利用料金を1回につき3,000円と定めるもので、これらの利用料金は指定管理者の新たな収入となります。
- 他の自治体の例を見ても公民館レベルで3,000円という高額な利用料金を定めているところはありません。
- 利用者にはこのほかにピアノの調律料金(15,000円から20,000円が相場のようなです)の負担が求められるなど、**市民の負担が大きくなり過ぎて**います。

◆令和6年度木更津市一般会計予算

……以下の理由から**反対しました。**

- 前述したように令和6年度木更津市一般会計に占める**土木費の割合は12.4%**と県内各市と比較しても飛び抜けて大きくなっています。
- これでは諸物価の高騰等に苦しむに対する**市民や事業者への支援が薄くな**ってしまいます。
- 「ものづくりよりも人づくり」という当たり前の観点から容認できません。

◆付属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

……以下の理由から**反対しました。**

- この条例は、木更津市吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会をつくることで、今後の1年間を目安に施設の建設計画を進めていこうとする内容を含んでいます。
- この施設については、令和6年2月18日に実施された「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画(吾妻公園)素案に関する住民説明会」においても賛成の意見よりも計画を懸念する声の方が圧倒的に多く、住民の理解は得られていないと考えています。



新型コロナウイルス感染症が5類に移行して以降、木更津市では市長や市の職員と議員との情報交換会などの名目による宴会が多く開催されており驚いています。
お酒が入る場なので、現在世間で取り上げられているパワハラやセクハラの原因にならないとも限りません。また、議会と行政との癒着の原因になるのでは、という話にも発展しかねないかと危惧しています。
そのような考えから、私はこのような会への参加をやめました。

ぜひ

皆様のご意見をお聞かせください。
活動に生かさせていただきたいと考えています。